



互いの「よさ」や「可能性」を生かして

今日から2学期が始まりました。
保護者の皆様、地域の皆様、2学期も引き続きよろしくお願いいたします。

1. オリンピックで印象に残ったこと

(1)北口榛花(きたぐち はるか)選手 陸上競技やり投げ 金メダル

- 67m38 日本記録保持者
- 幼少期から水泳を始め中学校時代に全国大会出場
- 小学校から始めたバドミントンでも全国大会出場
- 高校時代、陸上部顧問から勧められ陸上競技を始める

(2)早田ひな(はやた ひな)選手 卓球団体 銀メダル、シングル 銅メダル

- 卓球をしていた姉の影響で、4歳から競技を始める
- 中学校卓球大会2年連続優勝
- ワールドツアーチリオープン、最年少決勝進出(2014年当時)
- アジアジュニア卓球選手権大会で、中国を破り優勝
- 全日本卓球選手権女子ダブルス5連覇中、シングル2度優勝
- 東京オリンピックはリザーブで、出場なし

(3)サニブラウン・アブデル・ハキーム 陸上競技 100m準決勝進出、4×100mリレー5位

- 自己ベスト 100m 9秒96 日本歴代2位 ※オリンピック準決勝記録
- 60m 6秒54 日本記録保持者
- 小学校時代サッカーをしていたが、小学3年の時、母から勧められ陸上競技を始める
- 世界ユース選手権 100m 優勝、200m 優勝
- 日本選手権 100m 優勝、200m 優勝

2. オリンピックを通して学んだこと

(1)身近な人(家族、友達、先生)の話をしっかり聴く

世界で活躍している選手が競技を始めたきっかけは、身近な人の話をしっかり聴き、自分の心で言葉を受け止めたことが多いようです。身近な人は、皆さんの事を考えてお話ししているので、しっかり話を聴きましょう。

(2)集中して取り組む

オリンピックで自己ベスト記録を出す、ケガをしながら勝つことは、とても難しいことです。大会に向けて練習や心構えなどしっかり準備し、集中して取り組むことが必要です。集中できる人は、リラックスすることも上手なようです。

**皆さんに、学校生活を通して毎日取り組んで欲しいと思っています。
続けていくことで、自分の「よさ」に気づき、様々な「可能性」が広がるでしょう。**

全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)

滋賀学園(ベスト8)で出場した國仲優星(くになか ゆうせい)選手(3年)は、小学校時代「前田ホークス」に所属した選手です。

自分の「よさ」と「可能性」生かし、成長している先輩がいます。